



『初めての海外旅行！』



竹中エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 穂積 正彦

私が初めて海外に行ったのは、昭和57年(1982年)6月、当年27歳。東京で営業の仕事をしていた頃です。学生時代はお金がなく海外留学や海外旅行なんて夢の夢でした。

当時ある事に使うために貯めていた貯金100万円の使う予定がなくなった事と親友の誘いもあって、その100万円を使い切る海外旅行を計画しました。当時当社は社員70名ほどの会社で、3年で売上が2倍、社員が3倍になる急成長時期にありました。その多忙な時期に会社へ2週間の休みを申し入れ、上司より怒られましたが、粘りに粘って条件付で許可をいただきました。その条件は5月度を売上100%達成と半月不在になる6月度を90%以上達成させる事でした。私はきっぱり「やります!」と言い、承諾を得ました。(そう言わないと行かせてもらえなかったのです!)

到着日と出発日の2泊のホテルだけが決まっている旅行で、それ以外全てがフリーで自由気ままができる旅行内容にしました。私は東京、親友は大阪でしたので旅行当日の飛行機の中で、行く場所を相談した事をよく覚えています。協議の結果、フランクフルト(ドイツ)⇒パリ⇒ニース(フランス)⇒ローマ⇒フィレンツェ(イタリア)⇒インターラーケン(スイス)⇒フランクフルトという、大都会ありの海・山の大自然ありの旅行でした。いやー本当に色々な事があり、楽しくもあり、ヒヤヒヤドキドキもあり、多くの思い出が作れました。

事件もありました。ローマへ行く夜行列車で寝ている間に私だけがスリに会い、全てのお金とお土産の一部を取られてしまいました。旅行の工程を6割方しか消化していなかった為、親友の残金27万円を折半してもらいました。

とにかく100万円を使い切るのが目的でしたので、チップは小銭入れに入っている小銭全部といった具合に乗っていたタクシー代より、当然チップ代の方が高額になる事も多々。結局15日間の旅行で使ったお金は112万円程でした。目標達成どころか、大幅達成?でした。当時のレートは1ドル250円ほどでしたので、今であれば倍以上の豪遊ができていたかも?まあ、いまどきこんなバカな旅行をする人はいないでしょう。

ところで、売上達成はどうなったのか気になった方がいらっしゃれば、うれしいのですが…。もちろん5月6月とも見事100%達成させました!有言実行です!

すみません。他人のこんな話読んでも何の意味もない事ですよね。協会からの原稿依頼がきて、過去の方たちの内容を見るに、自分の経験談や思いを書き記すのだと解釈し、書いてみました。竹中の穂積という男はこんな男かとちょっと知っていただければ、幸いです。

最後に私のモットーは『役に立て』です。よって何か参考になればとの考えで、海外の展示会の内容をご案内する事に致しました。少しでもお役に立てることが出来ればうれしいです。

●海外でのセキュリティショーの紹介

1 IFSEC International

IFSEC Internationalはヨーロッパでも有数のセキュリティショーで、毎年6月中旬に英国・ロンドンで開催されています。2017年は約600社が出展、3日間で約28千人が来場しましたが、単なる展示会としての意味合いだけでなく、世界各国よりエンジニア、ビジネス関係者が集まり、グローバルなネットワーキングを行う機会とも位置付けられています。グローバルの主要メーカーが一堂に会し、アクセス制御、及びビデオ監視からホームオートメーション、周辺セキュリティまで、セキュリティのあらゆる側面をカバーした展示内容となっていますが、最近では展示の70%以上をカメラメーカーが占めています。また、近年は防火、ヘルスケア、施設管理関連の展示会も同時に開催されるようになっています。

2 ISC West

ISC Westは毎年4月中旬に米国・ラスベガスで開催される米国最大のセキュリティショーです。2018年の出展社数は約1,000社、3日間で約30千人が来場しましたが、展示会の規模は毎年拡大の一途を辿っています。前述のIFSEC同様、あらゆるセキュリティ製品が展示されており、最近の傾向としては、監視カメラ、ビデオ・マネジメント・システム(VMS)、入退関係等、各社の専門の切り口から、監視カメラの映像データを中心にしたAI(ディープラーニング)による侵入警戒を行うソリューションを多くのメーカーが提案しており、全体的に同じような方向に向かっている印象です。米国ではセキュリティ機器の誤報による警察の出動に対して、ペナルティとして州毎に決められた罰金(1回150ドル以上)を支払う法律が施行されています。

3 Sicurezza

Sicurezzaは隔年(奇数年)の11月中旬にイタリア・ミラノにて開催されるセキュリティショーで、35年目に当たる2017年は約465社が出展し、3日間で26千人が来場しました。他のグローバルな展示会とは若干趣が異なり、イタリア地場のセキュリティ機器メーカーの展示が全体の半数以上を占めています。また、イタリアは警備会社が少なく、自主警備が主流となっています。

4 その他のセキュリティショー

【欧州・中東・アフリカ・ロシア】

	開催時期[隔年時]	開催都市(国)	前回の出展社数	前回の来場者数
Sicur	2月下旬	マドリッド(スペイン)	645社	約44千人
Security Essen	9月下旬[偶数年]	エッセン(ドイツ)	1,040社	約40千人
Expo Protection	11月上旬[偶数年]	パリ(フランス)	754社	約25千人
Sicherheits Expo	6月下旬	ミュンヘン(ドイツ)	160社	約4千人
Intersec	1月下旬	ドバイ (アラブ首長国連邦)	1,337社	約30千人
Securex South Africa	5月下旬	ヨハネスブルグ (南アフリカ)	170社	約5千人
Securika Moscow	3月下旬	モスクワ(ロシア)	436社	約18千人

【北・中南米】

	開催時期[隔年時]	開催都市(国)	前回の出展社数	前回の来場者数
ISC East	11月中旬	ニューヨーク(米)	225社	約7千人
Exposec	5月下旬	サンパウロ(ブラジル)	800社	約42千人
ISC Brazil	6月下旬	サンパウロ(ブラジル)	150社	約18千人
Expo Seguridad	4月下旬	メキシコシティ (メキシコ)	346社	約16千人

【アジア・オセアニア】

	開催時期[隔年時]	開催都市(国)	前回の出展社数	前回の来場者数
Security China	10月下旬[偶数年]	北京(中国)	993社	約150千人
China Public Security Expo	10月下旬[奇数年]	深圳(中国)	1,500社	約130千人
SECON	3月下旬	ソウル(韓国)	421社	約45千人
Secutech Taipei	4月下旬	台北(台湾)	372社	約22千人
Secutech India	4月上旬	ムンバイ(インド)	325社	約22千人
IFSEC India	12月上旬	ニューデリー(インド)	300社	約18千人
Secutech Vietnam	8月中旬	ホーチミン(ベトナム)	270社	約12千人
IFSEC Southeast Asia	10月下旬	バンコク(タイ)	350社	約10千人
Safety & Security Asia	10月上旬	シンガポール	250社	約9千人
IFSEC Philippines	5月下旬	マニラ(フィリピン)	200社	約5千人
Security Exhibition & Conference	7月下旬	シドニー[奇数年] メルボルン[偶数年](豪)	153社	約5千人

*当社は、IFSEC International(英)、ISC West(米)、Security Exhibition & Conference(豪)、その他に毎年出展し、活動致しております。竹中エンジニアリングは設立47年目になり、2000種を超える商品と20事業所(国内)をもって、拡販とサービスの向上を目指しています。『TAKEX』のブランド商品が海外の宮殿やスペースシャトルにも採用され、多くのニーズに対応しています。

これからも皆様の事業に、需要に誠心誠意努力し、応えていく所存です。何卒、今後ともご愛顧ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます、私のつたない『リレートーク』とさせていただきます。

